

おかげさまで合併60周年

森町10年のあゆみ

10年間に実施した町民のためのハード事業

はじめに

昭和30年4月1日に旧天方村、森町、一宮村、園田村、飯田村の5か町村が合併し、森町が誕生*してから、今年で60周年をむかえます。町では、時代のニーズに合わせ、さまざまな施策を行い、町民の皆さまとともにまちづくりを進めてまいりました。

この冊子は、森町が将来にわたって住みやすく、より自立したまちであるための基本理念を定めた「第8次森町総合計画」に基づき、過去10年間に実施した主要なハード事業について、総合計画における5つの柱（施策の基本方向）ごとに紹介したものです。

ここに、森町合併60周年記念として本誌「森町10年のあゆみ」を発行し、今後も地方創生の推進に向けて、計画的に各種事業に取り組んでまいります。

*旧三倉村と嵯塚地区は昭和31年に森町に編入

みんな なっかで めくといまち【保健・医療・福祉の充実】

①子どもを安心して生み育てることのできるまちをつくる

- 放課後こども教室の整備……………1
- 放課後児童クラブの整備……………1
- 保育所の整備……………1

②誰もが健やかに暮らせるまちをつくる

- 公立森町病院の充実……………2
- 家庭医療の充実……………2

③生きがいをもって安心して生活できるまちをつくる

- 特別養護老人ホームの充実……………2

学校、家庭、地域ぐるみで育むまち【教育の充実・文化の振興】

①地域ぐるみで子どもを育み、自ら学ぶまちをつくる

- 幼稚園、学校施設の整備……………3

②健康的で文化の香りあふれるまちをつくる

- 文化財の保護……………4
- 生涯スポーツの推進……………4

住みたい、住み続けたいまち【生活環境の整備】

①快適に暮らせるまちをつくる

- 新東名関連事業……………5
- 土地区画整理関連事業……………5
- 道路・河川整備事業……………6
- 橋梁整備事業……………6
- 町営住宅の充実……………6
- 天竜浜名湖鉄道関連の整備……………7
- 地域内公共交通の整備……………7

- 上水道事業.....7
- 下水道事業.....7
- ②安心・安全な暮らしを実感できるまちをつくる**
- 急傾斜地の崩壊防止対策.....8
- 役場庁舎の整備（耐震化と省エネ対策）.....8
- 防災拠点施設等の整備.....9
- 防災無線の整備.....9
- 消防・救急体制の整備.....10

活気にみちた産業を育むまち【産業の振興】

- ①地域の自立を支える「産業力」のあるまちをつくる**
- 農業総合整備事業.....11
- ②賑わいと魅力のあるまちをつくる**
- 観光の振興.....12

たんと自然に たんと愛情をそそぐまち【自然環境の保全】

- ①美しい自然を継承するまちをつくる**
- 森林整備事業.....13
- 町民の森整備.....13
- 太田川ダム整備事業.....13
- ②環境と共生するまちをつくる**
- 一般廃棄物最終処分場の整備.....13

- 森町のあゆみ（平成17年1月～平成28年1月）.....14**



スマートIC開通式



新東名高速道路

記載についての説明

- 1.対象期間は平成17年度から平成26年度までの10年間です。
 ※一部の主要事業については、対象期間外でも掲載しています。
 ※今後も継続して実施する事業については、事業開始時から事業終了時を対象としています。
- 2.事業費欄に*印のあるものは平成27年度までの見込み事業費を、**印のあるものは事業完了年度までの見込み事業費を記載しています。

1 子どもを安心して生み育てることのできるまちをつくる

放課後子ども教室の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
放課後子ども教室の整備 (三倉小・天方小)	三倉小の校舎3階の空き教室を改修し、平成23年9月に開設。(平成23年度) 天方小の校舎1階の空き教室を改修し、平成27年4月に開設。(平成26年度)	2,418

子どもたちの安全・安心な居場所を設け、勉強やスポーツ・文化芸術などの体験、地域の大人や異年齢の子どもとの交流ができる場が整いました。

放課後児童クラブの整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
放課後児童クラブ室の整備	平成27年4月から小学6年生まで対象年齢を拡充したため、森小学校と宮園小学校内に「第2放課後児童クラブ」を開設。それぞれ空き教室を改修して、エアコン・カーペット・玄関等を設置。(平成26年度)	6,663

就労などの理由で保護者が昼間家庭にいない児童に、放課後や学校休業中に安心して生活する場所を提供しました。

保育所の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
ときわ保育園・新園舎の整備	昭和49年に建築した旧園舎の老朽化に伴い、耐震性に優れた定員120人の新園舎整備への助成。(平成19年度) *総事業費 226,779千円のうち、町負担分 152,852千円	152,852
森町小規模保育所の整備	保健福祉センター2階に小規模保育所を開設。0~2歳児を対象とした定員19名の施設で、平成27年9月1日に開所。(平成27年度)	23,341*

今後も待機児童をなくし、保護者の就労支援、児童の健全な心身の発達支援に努めます。



保健福祉センター内に開所した「もりの保育所」



森小「放課後児童クラブ」



ときわ保育園新園舎



天方小「放課後子ども教室」

2 誰もが健やかに暮らせるまちをつくる

公立森町病院の充実

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
MRIの導入	さまざまな病気の早期発見、診断を行う磁気共鳴画像診断装置（MRI）を導入。このMRIは、患者の負担軽減のため、狭い所が苦手な人や子供でも検査が可能なオープン型。（平成16年度～17年度）	119,858
回復期リハビリテーション病棟の整備	積極的なリハビリによる在宅復帰を目的に、3階東の一般病棟を改修し、機能訓練室や言語聴覚室、車椅子対応のトイレ、浴室などを整備。（平成21年度）	45,885
フィルムレス画像管理システム（PACS）の導入	CT、MRI、内視鏡などの画像管理の省力化と業務効率の向上を目的に、画像データを電子データとして保存、管理するフィルムレス画像管理システム（PACS）を導入。（平成21年度）	67,103
電子カルテシステムの導入	情報共有化による診療の質や患者への説明性の向上、また管理の省力化のため、カルテや検査データなどの診療内容を電子データとして保存、管理する電子カルテシステムを導入。（平成25年度）	230,978

地域から必要とされる医療を提供するため、病院機能強化のための医療機器、設備の導入、回復期リハビリテーション病棟の整備等を行いました。

家庭医療の充実

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
家庭医療センター (家庭医療クリニック開設)	家庭医養成の核となる“森町家庭医療センター”を建設。電子カルテや一般撮影X線装置などの医療機器を整備した森町家庭医療クリニックを開設。（平成22年度～23年度）	402,588

3 生きがいをもって安心して生活できるまちをつくる

特別養護老人ホームの充実

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
小規模特別養護老人ホーム・ 天宮サテライト補助金	原則、森町民が優先的に入所できる施設として、社会福祉法人聖隷福祉事業団に対し、介護基盤緊急整備特別対策助成を実施。（平成23年度）	133,400



森町家庭医療センター



天宮サテライト



オープン型のMRIを導入



回復期リハビリテーション病棟の機能訓練室

1 地域ぐるみで子どもを育み、自ら学ぶまちをつくる

幼稚園、学校施設の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
町内幼・小・中学校の ○耐震補強事業 ○ガラス飛散防止事業	園舎・校舎等の耐震補強事業 ・森中学校校舎（平成15年度～16年度） ・旭が丘中学校校舎（平成16年度～17年度） ・飯田幼稚園園舎（平成18年度） ・三倉小学校体育館（平成19年度） ・森小学校体育館（平成19年度） ・森小学校中棟校舎（平成20年度～21年度） ・天方小学校校舎（平成21年度～22年度） ・飯田小学校、旭が丘中学校ランチルーム（平成26年度～27年度） 幼・小・中学校ガラス飛散防止事業 森幼・一宮幼・三倉小・天方小・森小・宮園小・泉陽中の各園舎・校舎に防災対策として実施。（平成16年度～21年度）	1,018,315
町内学校施設整備事業	泉陽中学校体育館改築事業 木造・RC造平屋860㎡、駐車場・外構整備もあわせて実施。（平成16年度） 宮園小学校校舎トイレ改修事業 校舎内のトイレ9箇所（16室）の改修工事を実施。（平成23年度～24年度） 幼・小・中学校扇風機設置事業 熱中症予防対策として、町内の6幼稚園・5小学校・3中学校内の普通教室及び特別教室、保育室などに扇風機を設置。（平成23年度～27年度）	355,352
学校給食拠点化施設整備事業	泉陽中学校区 平成21年9月、泉陽中学校区の幼・小・中学校の給食調理業務を拠点化し、配送車による配食を開始。（平成20年度～21年度） 旭が丘中学校区 平成22年9月、旭が丘中学校区の幼・小・中学校の給食調理業務を拠点化し、配送車による配食を開始。（平成21年度～22年度）	169,615
森幼稚園・園田幼稚園 預かり保育準備改修事業	預かり保育事業を開始するに当たり、環境整備のためエアコン等を設置。（平成26年度）	2,224

町内各幼稚園・小学校・中学校の耐震補強やガラス飛散防止などの工事を行い、子どもたちが安心して学べる学校環境の整備に努めました。



木材をふんだんに使い、あたたかみのある泉陽中体育館



旭が丘中学校区給食拠点施設

2 健康的で文化の香りあふれるまちをつくる

文化財の保護

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
国指定重要文化財友田家住宅保存修理事業	傷んだ屋根の修理・葺き替えを中心に、各部の修理や耐震工事などの保存修理の支援を実施。事業主体：友田家 *総事業費43,510千円のうち、町負担分2,176千円（平成23年度～24年度）	2,176
天宮神社本殿及び拝殿建造物保存修理事業	平成23年9月21日の台風15号による倒木により破損した県指定文化財の本殿や拝殿の保存修理への支援を実施。事業主体：天宮神社 *総事業費58,912千円のうち、町負担分14,729千円（平成23年度～24年度）	14,729

地域の伝統や歴史、文化継承のシンボルとなる文化財などの保存修理などを行いました。

生涯スポーツの推進

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
森町総合体育館（森アリーナ）建設事業	旧森町中央体育館の老朽化により、新たに森町総合体育館（森アリーナ）を旧周智高校グラウンド跡地に建設し、平成27年10月オープン。 （平成24年度～27年度） 施設概要 敷地面積11,614.13㎡／延床面積3,783.58㎡ ・鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て・競技場（バスケット1面、バレー2面、バドミントン8面ほか） ・体力測定室（柔剣道場）・トレーニング室・研修室・会議室・ランニングコース（1周約155m）・駐車場（約180台）・駐輪場（20台）	1,712,573*



友田家の保存修理



天宮神社本殿・拝殿の保存修理



2階部分に1周約155mのランニングコースを備え、多目的に使用できる森アリーナ



平成27年10月にオープンした森町総合体育館（森アリーナ）

住みたい、住み続けたいまち

1 快適に暮らせるまちをつくる

新東名関連事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
新東名高速道路 森掛川IC・ 遠州森町PAの設置	平成24年4月の新東名開通にあわせ、森掛川IC（インターチェンジ）と遠州森町PA（パーキングエリア）を設置。大規模災害時にはPAを拠点とした物資搬送や、避難路・緊急輸送路としての役割も期待される。 事業主体：中日本高速道路㈱（平成24年度）	
新東名高速道路 遠州森町スマートIC 事業	平成26年3月29日に遠州森町スマートIC（インターチェンジ）を設置・開通。町内にICが2つあることで、工業団地から新東名までのアクセス短縮、町内観光施設などへの周遊性の向上が図られ、森町の新しい玄関口の役割を果たしている。 * 本体工事は、中日本高速道路㈱が行い、町はスマートICへのアクセス道路整備や、平成25・26年度に周辺の渋滞対策を実施。（平成24年度～26年度）	536,827

土地区画整理関連事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
森町天宮 土地区画整理事業	機能的な交通体系整備と、良好な住環境を確保することにより、旧森市街地への定住化を促進し、活性化を図る。平成29年度完了予定。 施行面積 約11.9ha（平成9年度～29年度）	2,366,000**
森地区まちづくり 整備計画事業	森町天宮土地区画整理事業に関連して、主に天宮地区・向天方地区を中心に道路・公園整備を行い、まちなかの活性化を図る。平成27年度完了予定。計画対象面積250ha（平成23年度～27年度）	318,000*



新東名森掛川IC
わくわくウォーキング



遠州森町スマートIC



天宮土地区画整理地内の住宅街



芝生や遊具が整備された天宮公園

道路・河川整備事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
町道一宮圃場18号線の整備	主要地方道掛川天竜線と一般県道焼津森線を結ぶ、L=594.4m W=5.5m、歩道幅員1.35mの道路整備を実施。(平成16年度～23年度)	108,741
町道大上宮奥線改築事業(辺地対策事業)	全体計画 L=1,400m W=4.0m (平成26年度まで508m) 小國神社北部から上橋に向かって道路整備実施中。(平成22年度～30年度)	250,921**
町道一之瀬大久保線改築事業(辺地対策事業)	全体計画 L=1,000m W=4.0m (平成26年度まで544m) 県道水窪森線から乙丸方面に向かって道路整備を実施中。 (平成22年度～28年度)	165,502**
主要地方道袋井春野線三倉バイパスの開通	県道袋井春野線で建設を進めていた三倉バイパス(三西橋～永代橋の1.75km区間)が、三倉大橋とともに平成24年6月に開通。事業主体：静岡県	
準用河川第二小藪川改修事業	おさだ苑付近から都市下水路合流地点まで L=215mの河川改修を実施。(平成15年度～18年度)	130,634

橋梁整備事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
主要地方道袋井春野線森川橋架替事業	平成24年9月に完成した新・森川橋は、橋長110m、全幅17.8m、両側3.5mの歩道を備え、歴史ある町並みと調和したデザインで、森町の新しい玄関口として親しまれている。事業主体：静岡県(平成16年度～24年度)	
森川橋架替に伴う親柱、ポケットパーク整備事業	森川橋の右岸約62mを志賀重昂の記念碑、説明板の設置などポケットパークを整備。(平成23年度)	13,115
宗高橋の架替事業	旧橋は幅員3m程度の狭小なコンクリート橋であったが、道路改良に併せて橋梁の架替を実施。(橋長23.1m)(平成21年度)	120,000
天森橋の橋梁長寿命化工事	天森橋の長寿命化を図るため、下部工、上部工、高欄、舗装などの修繕工事を継続して実施。(平成27年度～30年度)	118,000**

町営住宅の充実

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
町営住宅天宮団地改築事業	町営住宅天宮団地の建替工事を実施。鉄筋コンクリート造り・4階建て、24戸(2LDK)を整備。 (平成15年度～16年度)	438,813



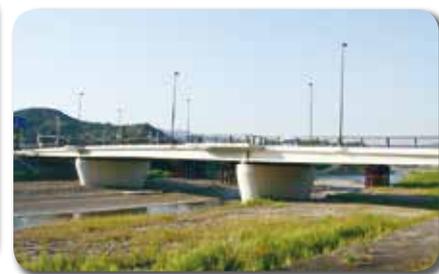
森川橋開通式



町営住宅天宮団地



森川橋完成を祝うパレード



完成した森川橋

天竜浜名湖鉄道関連の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
天竜浜名湖鉄道 森町病院前駅の新設	森町病院周辺の交通手段の利便性向上、高齢者等の移動困難者の移動手段の確保のため、新駅設置を天浜線に要望し、新設に伴う費用を負担。 ○ホーム延長40m、旅客待合室、ホーム照明灯、トイレ1棟、駐輪場20台、駐車場24台(平成26年度)	144,502

地域内公共交通の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
町営バスの運行	「地域の足は地域で確保する」という視点に立ち、地元団体との協働により、児童・生徒の通学や高齢者の医療機関への通院など三倉・天方地区の生活の足を確保。 ○平成20年4月～吉川線・大河内線の運行を開始。 ○町営バス購入2台及びバス停標識の整備を実施。(平成19年度～26年度)	85,078

上水道事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
上水道管及び配水施設の整備	公共下水道の整備に併せた管路整備と計画的な配水施設の改良工事を行うとともに、耐震性に優れた管及び継手を使用し、耐震性の強化を実施。(平成17年度～27年度)	1,502,925*

森町上水道基本計画に基づき、計画的に管路整備と改良工事を行い、上水道の安全・安心・安定的な供給を推進しました。

下水道事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
公共下水道の整備	下水道管渠及び森町浄化センターの整備を実施。 ○森町浄化センター(平成21年3月完成) 汚水処理方式：嫌気好気ろ床法 汚水処理能力：2,060m ³ /日 ○現在の整備状況 供用開始面積：153.4ha 管渠(下水排水管)延長：31.8km (平成16年度～27年度)	6,958,734*

森町公共下水道事業 第3期事業計画に基づき着実に下水道の整備を進め、住環境の改善を図ります。



森町浄化センター



下水管埋設工事



町営バス



平成27年3月14日に開業した森町病院前駅

2 安心・安全な暮らしを実感できるまちをつくる

急傾斜地の崩壊防止対策

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
三島神社急傾斜地崩壊対策事業	近隣住民の生命・財産を守るため、神社境内地南側の法面について、法面工、擁壁工などを整備。(平成23年度～27年度)	78,773*

役場庁舎の整備 (耐震化と省エネ対策)

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
森町役場本庁舎の耐震化・省エネ化事業	昭和40年に建築した役場本庁舎の耐震補強を実施し、災害時に防災拠点施設となる庁舎機能の維持強化を図った。また、省エネルギー時代に対応した環境に優しい庁舎への転換を行った。 ○本庁舎耐震補強工事 (平成15年度～16年度) ○庁舎省エネ改修事業 (平成22年度) ・太陽光発電システム導入 ・省エネ冷暖房設備導入 ○庁舎照明LED化事業 (平成26年度)	275,438



三島神社急傾斜地崩壊対策



役場本庁舎耐震補強工事



耐震補強した役場本庁舎

防災拠点施設等の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
全避難所への 防災倉庫の整備	指定避難所全施設及び救護所に防災倉庫を整備。併せて、備蓄用食料、防災資機材等を追加整備。 ＜防災倉庫＞床面積14.4㎡×8棟、床面積9.6㎡×1棟 (平成23年度～28年度)	93,631**
自主防災会防災倉庫・ 可搬ポンプ・諸備品の整備	各自主防災会倉庫・可搬ポンプ・諸備品(発電機・資機材・非常食等)を整備。 (平成23年度～28年度)	62,338**
給水タンク車の整備	大規模災害や断水、濁り水の発生など緊急時における早期対応と機動力を備えるため、給水タンク車及び取水施設を整備。 (平成23年度)	20,243
森町拠点防災倉庫の整備	大規模災害に備えて、施設内に「緊急物資集積所」と「緊急物資仕分け所」を設置し、災害応急対策の拠点として整備。平時には町防災倉庫や消防団の拠点施設として活用。平成28年1月末に完成予定。 木造2階建、延床面積971.50㎡(平成27年度)	281,190*

防災無線の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
同報無線の更新事業及び 難聴地区への新設事業	設備の老朽化により、基地局及び屋外子局を更新したほか、最新の戸別受信機を各家庭に配布。また、難聴地区への屋外子局を新設し、町民への迅速な情報伝達を図る。(平成21年度～28年度) ①屋外子局 ・更新施設 基地局 1局、屋外子局14局 ・新設施設 屋外子局5局 ②戸別受信機 一般家庭6,020台、事務所150台	385,450**
消防救急無線の デジタル化	消防救急無線設備をアナログ波からデジタル波に移行し、安全、迅速な情報伝達を図る。(平成26年度～27年度) ※事業費は、袋井市森町広域行政組合1市1町合計額	344,408*
防災行政無線(移動系) のデジタル化	防災行政無線設備をアナログ波からデジタル波に移行し、安全・迅速な情報伝達を図る。 (平成27年度～28年度)	416,000**

災害時の住民への情報伝達手段として重要な役割を果たす同報無線設備の更新や、災害現場からの情報を収集するために必要な移動系防災行政無線のデジタル化を実施しました。



袋井警察署森分庁舎隣に建設する、拠点防災倉庫の完成イメージ

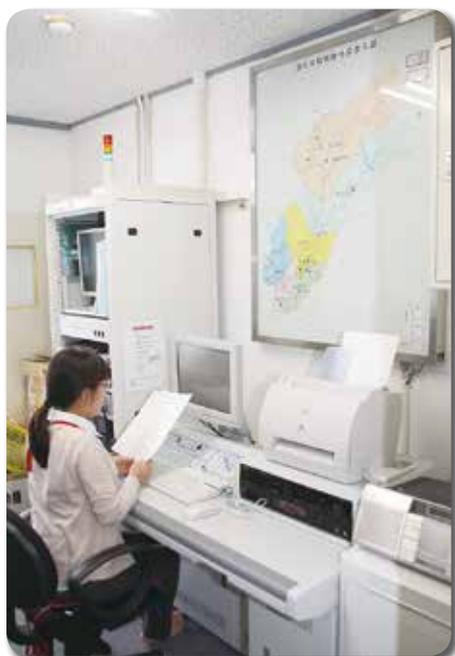


避難所に設置した防災倉庫と資機材(旭が丘中学校)

消防・救急体制の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
森町消防団本部／各分団車両更新事業	<p>消防団の装備充実や活動の向上を図ることを目的に、最新鋭の多機能型消防車両などを配備。</p> <p><本部車両の更新> 森町消防団指揮車（平成19年度） // 照明車（平成23年度） // 消防資材運搬車（平成27年度）</p> <p><ポンプ車両の更新> 第3分団1部（平成20年度）・第2分団4部（平成21年度） 第5分団1部（平成24年度）・第2分団3部（平成25年度） 第4分団1部（平成25年度）</p> <p><積載車両の更新> 第4分団2部（平成20年度）・第3分団2部（平成22年度） 第5分団2部（平成24年度）</p>	123,118*
積載車用ポンプ購入事業	第1分団1部（平成26年度）	2,074
消防団救命ボート購入事業	<p>集中豪雨や台風などの上陸などによる被害に備えるため、災害用救命ボートを配備。</p> <p>全長：4.2m、全幅：1.7m、6人乗り、救命胴衣15着分（平成24年度）</p>	756



老朽化に伴い更新した同報無線親局



各消防団に配備したポンプ車と積載車



災害に備え給水タンク車を配備



森町消防団照明車

1 地域の自立を支える『産業力』のあるまちをつくる

農業総合整備事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
農業用水路の改修と暗渠排水整備事業	<p>県営地域水田農業支援緊急整備事業（平成18年度～22年度） 太田川上流部土地改良区内の用水路・暗渠排水を整備。</p> <p>スイート天宮整備事業（平成24年度～26年度） 城下～飯田地区の幹線農業用水路の補修を実施。</p> <p>とうもろこしの里整備事業（平成25年度～29年度） 太田川上流部土地改良区内の排水路と水田暗渠を整備。</p>	65,450**
広域農道舗装改良事業 (県営農地整備事業)	<p>広域農道の舗装改良および道路側溝の部分改修を実施。 *総事業費1,250,000千円のうち、町負担分225,510千円 (平成24年度～28年度)</p>	225,510**
森の土づくりセンター 整備事業	<p>畜産農家とレタス農家が連携して良質な堆肥を生産し、安心・安全な堆肥をレタスほ場に散布する土づくりの推進を図った。 ○発酵舎、発酵プラント、攪拌機、ショベルローダー1台、 2tダンプ1台、堆肥散布機1台 *総事業費77,419千円のうち、町負担分7,373千円（平成16年度）</p>	7,373
森の茶研修センター 整備事業	<p>荒茶加工技術の向上や、「遠州森の茶」ブランドの確立と商品価値の向上を目的として整備。 *総事業費15,000千円のうち、町負担分5,000千円（平成25年度～26年度）</p>	5,000
茶園整備事業	<p><茶園整備> 天方地区の間詰（笹田）に7.8haの茶園を整備 *総事業費のうち、町負担分229,596千円（平成11年度～21年度） 天方地区の鍛冶島（栗ノ島）に2.7haの茶園を整備 *総事業費のうち、町負担分12,229千円（平成18年度） <防霜ファンの整備> 三倉・天方地区で防霜ファン58基、制御盤10基を設置 *総事業費18,036千円のうち、町負担分10,020千円（平成26年度）</p>	251,845
鳥獣被害防止 総合対策整備交付金事業 (イノシシ用侵入防止柵設置工事)	<p>有害鳥獣による茶園への被害を防止するため、茶園5箇所を金網柵で囲う整備を実施し、被害の軽減を図った。</p> <p>(平成23年度) 天方 栗ノ島890m・西俣1,242m 三倉 大平985m 一宮パイロット3,546m *総事業費28,598千円のうち、 町負担分11,817千円</p> <p>(平成24年度) 草ヶ谷パイロット1,912m *総事業費7,770千円のうち、 町負担分3,885千円</p>	15,702



天方地区（笹田）に7.8haの茶園を整備



森の茶研修センター



農業用水路の改修



広域農道の舗装改良

2 賑わいと魅力のあるまちをつくる

観光の振興

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
天方城跡展望台整備事業	天方城跡に展望台と駐車場を整備。標高248mの展望台からは浜松市や遠州灘を望むことができる。(平成22年度～23年度)	17,771
遠州の小京都まちづくり推進事業	新東名開通を契機として森町を全国に発信するため、平成24年11月に全国京都会議に加盟。遠州の小京都まちづくり推進会議を設置し、まちづくり構想を策定。(平成24年度～26年度)	4,080
観光看板等整備事業	新東名・スマートIC開通による大型看板など、町内観光施設等の案内標識の整備を実施。(平成17年度～27年度)	38,972*
飯田城公園整備事業	町指定文化財である飯田城跡に案内看板や説明図等を設置して、公園整備を実施。(平成25年度～27年度)	3,268*



遠州森町スマートIC出口の観光案内看板



浜松市や遠州灘が見渡せる天方城跡展望台



飯田城公園の整備



1 美しい自然を継承するまちをつくる

森林整備事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
林道白山線新設改良事業	三倉地区（大府川～木根）内の白山線を整備。（平成13年度～21年度）	328,665
森林基幹道 大尾大白山線開設事業	森町を起点とし、掛川市・島田市行政界を通り、旧春野町を終点とする、3市1町を連結する広域林道を整備。 *総事業費1,198,500千円のうち、町負担分184,517千円（平成9年度～27年度）	184,517*
林業専用道 太郎杉線・境杉線開設事業	三倉地内の利用間伐促進のための路網整備を実施。（平成24年度～25年度）	56,403

町民の森整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
町民の森整備事業	「町民の森」に訪れる人が、安らぎと快適さが得られるように案内看板、テーブル、ベンチなどを設置。（平成17年度～27年度）	6,285*

太田川ダム整備事業

事業名	事業概要
太田川ダムの整備	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道水の供給を行う多目的ダムで、平成21年7月1日に供用開始。 ○施設概要／堤高70m、堤頂長290m、総貯水量1,160万m ³ 。円田取水場1日56,500m ³ 。 事業主体：静岡県（本体工事：平成14年度～21年度）

2 環境と共生するまちをつくる

一般廃棄物最終処分場の整備

事業名	事業概要
中遠広域一般廃棄物最終処分場整備事業	一宮地区（宮代西）に、旧2市5町1村（磐田市・袋井市・竜洋町・福田町・豊田町・浅羽町・森町・豊岡村）で共同処理する一般廃棄物最終処分場を建設。浸出水の地下流出を防ぐため、最新設備を整備。事業主体：中遠広域事務組合（平成16年度～18年度）



太田川ダム



一般廃棄物最終処分場（一宮地区）



町民の森整備

森町のあゆみ

(平成17年1月～平成28年1月)

平成17年

- 1.10 飯田地区に森の土づくりセンター完成
- 1.23 村松藤雄町長3期目就任
- 2.10 泉陽中学校体育館完成
- 3.22 町議会自主解散
- 3.25 役場庁舎耐震工事完成
- 4. 1 佐藤賢一助役再任
- 4.24 第14回町議会議員選挙
(議員定数16人を12人に改める)
- 9. 1 公立森町病院にMRI導入
- 10. 1 前町長・故太田三作氏合同告别式
- 10.26 旭が丘中学校校舎耐震補強工事完成
- 11.13 合併50周年記念式典

平成18年

- 4. 1 地域包括支援センター設置
- 9.18 敬老会を町内6地区で開催
- 10. 1 太田川ダム定礎式
- 11. 8 次郎柿原木の顕彰碑建立
- 12.22 森町浄化センター(公共下水道終末処理場)
建設工事始まる

平成19年

- 1.20 中遠広域一般廃棄物最終処分場完成
- 2.16 災害ボランティア森町が発足
- 3. 2 第8次総合計画策定
- 3.18 アクティ森・食体験ハウス「まんま」オープン
- 4. 1 協働まちづくり推進事業を創設
- 5.27 「森の夢づくり大学」が開講
- 7. 7 ダム湖面橋名称「かわせみ橋」に決定

平成20年

- 2. 3 アクティ森入場者200万人達成
- 2.17 ときわ保育園新園舎が完成
- 2.23 太田川ダム湖面橋「かわせみ橋」開通
- 3.10 村松藤雄町長4期目就任
- 3.24 中遠クリーンセンター完成
- 4. 1 後期高齢者医療制度始まる
- 4. 1 森町営バス「大河内線・吉川線」運行開始
- 4.14 林道白山線開通
- 5.23 ダム湖の名称「かわせみ湖」に決定
- 10.16 太田川ダム試験湛水始まる

平成21年

- 3. 1 周智高校・森高校で最後の卒業式
- 3.29 森町浄化センター(公共下水道終末処理場)が完成
- 4. 4 天宮土地区画整理地内に「天宮橋」が開通
- 4. 8 遠江総合高校開校記念式典を開催
- 4.19 第15回町議会議員選挙
- 9. 2 泉陽中学校区で学校給食拠点調理始まる
- 9.28 公立森町病院 回復リハビリテーション病棟完成
- 11. 1 太田川ダム竣工式
- 11. 7 国民文化祭しずおか2009「遠州森町の祭りと芸能」
開催

平成22年

- 3.28 没後150年大祭「森の石松まつり」開催
- 8.16 上海万博で森町3大舞楽公演
- 9. 1 旭が丘中学校区で学校給食拠点調理始まる
- 9. 7 森町保健福祉センター10周年記念式典
- 10. 1 鈴木寿一副町長就任
- 11.10 森町授産所「もみの木」20周年記念式典
- 12. 4 「しずおか市町対抗駅伝」町の部3位で7年振り表彰台

平成23年

- 1.26 天浜線の太田川橋梁・遠州森駅と遠江一宮駅の本屋などを国登録有形文化財に指定
- 3.11 東日本大震災
- 4. 1 森警察署が袋井警察署森分庁舎化
- 4. 1 役場庁舎に太陽光発電システム導入
- 5.16 森町家庭医療センター起工式
- 7.24 テレビ放送地上波デジタル化
- 11.21 新東名遠州森町スマートIC地区協議会開催
- 12. 1 森町家庭医療センターオープン

平成24年

- 2.17 防災用給水タンク車配備
- 3.10 村松藤雄町長5期目就任
- 3.15 中東遠消防指令センター運用始まる
- 4. 1 森町愛光園天宮サテライトオープン
- 4.14 新東名県内区間開通、森掛川IC・遠州森町PA整備
- 6.23 三倉大橋が開通
- 9.16 新・森川橋が開通
- 11.22 全国京都会議に加盟

平成25年

- 3.31 友田家(国指定重要文化財)の屋根葺き替え完了
- 4. 1 アクティ森「森のレストランかわせみ」開業
- 4.12 袋井警察署森分庁舎新庁舎が完成
- 4.21 第16回町議会議員選挙
- 6.18 飯田総合センターにモニタリングポスト
(空間放射線量測定・監視装置)を設置
- 8.18 鈴木藤三郎顕彰100周年記念講演会
- 11.11 次郎柿の皇室献上が100回目となる

平成26年

- 3.29 新東名遠州森町スマートICが開通
- 4.15 森の茶研修センター(緑茶研修施設)オープン
- 5.20 新・森町総合体育館起工式
- 10. 1 天宮土地区画整理地内に「天宮公園」が完成
- 10. 1 鈴木寿一副町長再任

平成27年

- 3.14 天浜線「森町病院前駅」が開業
- 4. 8 森幼稚園・園田幼稚園で預かり保育開始
- 6.30 森町拠点防災倉庫起工式
- 9. 1 森町小規模保育所「もりの保育所」を開所
- 10.12 森町総合体育館「森アリーナ」落成
- 10.31 森町合併60周年記念式典

平成28年

- 1.29 森町拠点防災倉庫の完成予定



森町ロゴマーク 合併60周年記念制定

輝く希望の太陽、春埜山、孤張山、本宮山、八形山、天方城跡、太田川、三倉川、吉川溪谷、葛布の滝などの豊かな自然を背景として、北部山林、中部商業、南部農業の地域、遠州森のお茶、縞の合羽で闊歩する遠州森の石松、遠州森の舞楽を表現し、「も・り・ま・ち」の文字を組み合わせてデザインした。

また、自然環境、地理、歴史、文化、芸能、観光地、イベント、特産品をモチーフに「ええら森町」の明るく元気な姿を、誰にでも一目見てわかりやすく、広く親しまれ、愛されるようデザインした。

そして、21世紀をリードする「森町」が力強く飛翔発展する勇姿を象徴した。



森町総合体育館「森アリーナ」